



病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針

1.質の高い安全な医療 2.救急医療 3.国内外の医療救済活動
4.地域連携 5.教育・研修・研鑽 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

就任のご挨拶



副院長 兼 整形外科部長
泊 真二

このたび、2018年4月1日より福岡赤十字病院副院長を拝命いたしました、整形外科の泊です。これまで整形外科の診療においては、南区を中心とした周辺の病院・診療所の先生方にお世話になってまいりました。私の専門領域である脊椎疾患では、画像所見のみにとらわれず、患者さんの症状をよく伺い詳細な診察を行うことにより、神経学的な診断とMRIなどの画像診断が整合し矛盾しないことを確認して診断を行ってまいりました。その上で必要最小限の病変に対し顕微鏡を用いた小侵襲手術を合併症なく行うことを目指してまいりました。

これからも整形外科の診療は継続しますが、今後は病院全体の管理について、少しでも院長先生のお力になれるよう努力いたします。医療費削減や労働時間短縮の風が吹き荒れる中、ほかの副院長先生方と協力して地域に貢献できる日赤病院を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



副院長 兼 消化器外科部長
低侵襲手術センター長
永井 英司

春爛漫の季節になりました。皆様益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

このたび4月1日に副院長、低侵襲手術センター長を拝命致しました永井英司と申します。昨年4月に当院に赴任いたしまして、消化器外科領域でがん治療、救急治療に取り組み、患者さんの生命予後はもとよりQOL改善を第一に考えた治療を実践してまいりました。

専門領域は消化器疾患の内視鏡手術(腹腔鏡・胸腔鏡手術)で、これまで多くの胃癌、食道癌患者さんの手術に携わってまいりましたが、患者さんのために常に新しい手技の開発、習得も目指してまいりました。

近年、糖尿病などを合併する高度肥満症に対する外科治療が広く認知されるようになり、当院でも内科の先生方と共にチームを結成し、第一例目の手術を行い、とてもスムーズに治療が進んでいます。体重減少と共に糖尿病の改善が期待でき、患者さんの満足度も高いこの分野で今後当院が皆様のお役に立てるようにしたいと思っております。

また、別項でも述べさせていただきますが、最新鋭手術支援ロボット・ダビンチXiが当院で導入されました。まずは消化器外科領域、泌尿器科領域で開始予定ですが、今後他の領域でも開始する予定です。低侵襲手術分野でも先生方のお役に立てればと思います。

多くの病院、診療所の先生方と共に地域医療に貢献する日赤病院にありまして私も微力ながら先生方のお役に立ちたいと思っています。これからもご指導の程、宜しく願い申し上げます。



第二小児科部長
久保 鋭治

今年4月より第二小児科部長として勤務しております久保鋭治と申します。

福岡赤十字病院には2年前に赴任し、原田部長退職後、波多江部長とともに小児科全般の診療に携わっております。私自身は、九大小児科に所属しており、特に新生児を専攻し急性期から在宅期まで極めて重篤な児の治療に従事して参りました。現在は、34週1500g以上のベビーを中心に、市内でも指折りの分娩数を誇る当院産科の安心安全な分娩の一翼を担っています。小児科全体に関しての特徴は、循環器、神経、腎臓、新生児を専門とする小児科医による幅の広い医療が可能である点です。大学病院やこども病院、福岡病院、徳洲会病院など近隣の病院と連携をしながら、患者さまに、よりよい医療を提供できるよう努めて参りたいと思っておりますので、お気軽にご相談下さい。



第二泌尿器科部長
清島 圭二郎

この度、第二泌尿器科部長として赴任致しました清島圭二郎です。

私は、1998年に筑波大学を卒業し、同年より九州大学泌尿器科に入局を致しました。特化した専門は膀胱癌の診断治療ですが、実際には副腎・腎・膀胱・前立腺・精巣等々の臓器疾患に対する外科的治療全般に長く携わってきました。経尿道的内視鏡手術、開腹手術、腹腔鏡手術等の技術はもちろんですが、最近ではロボット支援手術にも取り組んでおり、この4月から当院にて稼働しますda Vinci®手術支援ロボットシステムの運用にも関わらせて頂くこととなりました。排尿障害、尿路感染、尿路結石といった悪性腫瘍以外の疾患にも真摯に取り組み、先生方のお役に立ちたいと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

バングラデシュ南部避難民救援

2017年8月末から始まったミャンマー西部ラカイン州での暴力行為により、60万人を超える方が隣国のバングラデシュに避難しています。福岡赤十字病院では、日本赤十字社が国際赤十字と協働して行っている緊急医療支援要員として、現地に看護師2名を派遣しました。

※国際赤十字では、政治的・民族的背景および避難されている方々の多様性に配慮し、「ロヒンギャ」という表現を使用しないこととしています。

看護係長 橋本 香織 派遣期間：2017年11月24日～2018年1月11日 助産師 井ノ口 美穂 派遣期間：2017年12月6日～2018年4月26日



低栄養で痩せている子どもが多く、病気に罹患すると重篤になりやすい。



子どもたちに手洗いを指導。
キャンプ人口の半数以上は子ども。



地平線まで続く避難民キャンプ



下痢症や皮膚病、呼吸器感染症、外傷などの疾患に加え、麻疹、ムンプス、百日咳、ジフテリアなどの流行性疾患も見られた。



キャンプ内に複数の簡易診療スペースを作り、巡回診療を行うことで、なるべく多くの人が医療を受けられるよう工夫した。

退任のご挨拶



前 副院長
河野 博之

1999年8月に心臓外科開設のため福岡赤十字病院に赴任して以来、19年近くになりました。医師になって39年ですので、その半分近くを当院で過ごしたことになります。

当初、心臓手術を始めるにあたり、循環器内科、心臓病棟・CCU(旧西4)、麻酔科、手術室、臨床工学技士たちと心臓血管外科チームを編成し、多部署の協力を得ながら船出いたしました。おかげ様で順調に立ち上がり、近隣の先生方から多くの患者さんを紹介していただいたことで、これまでに心臓血管外科手術2,300例余りを施行することができました。患者さんのご紹介と、術後長期にわたって患者さんを診療していただいた先生方に深く感謝いたします。

後半の9年間は医療安全管理に係わり、心臓手術とは異なる医療の一面を見ることができて幸運でした。「医療者は患者に害を与えてはいけない」というヒポクラテスの言葉が医療安全(=患者安全)の基本であり、病院の更なる発展を目指して全職員が努力を続けることとしますので、引き続き福岡赤十字病院をよろしく願いいたします。大変お世話になりました。ありがとうございました。



前 副院長 兼 事務部長
古澤 智久

医療介護の同時改定が実施され、関係の皆様におかれては、大変お忙しい時期と拝察いたします。

さて、私こと 去る3月末日をもちまして定年退職いたしました。福岡赤十字病院では、7年間の勤務でしたが、大過なく勤め得ましたことは、地域医療機関、また関係の皆様のご理解、ご支援の賜物と深く感謝いたしております。

特に医療連携面では、病々、病診連携は言うまでも有りませんが、看々連携や関係医療機関の事務部長連携の会も発足し、福岡における医療機関の連携、結束を大変心強く感じております。

また、当事務部門におきましても、本年開催した業務改善発表会に大変多くの病院からご参加頂き、今後交流がさらに深まるものと感謝と共に大いに期待をしております。

今後とも相変わりがせず福岡赤十字病院にご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、連携医療機関の皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げ、退官のご挨拶とさせていただきます。



前 第一小児科部長
原田 達生

1989年に当院小児科に入職し約30年にわたり地域の小児医療に携わってきました。小児科入院患者の多くが感染症であることはこの間変わりませんが、最近では感染症迅速診断検査の発達などにより、RSウイルス アデノウイルス マイコプラズマ感染症など、起炎菌・ウイルスが確定した診断名が多くなりました。早期より有効な治療が可能となり、そして無用な抗生物質投与が減少することになりました。さらにワクチン制度の改定(肺炎球菌、インフルエンザ菌、水痘ウイルス他)に伴いそれぞれの疾患の減少が著明です。また最近の小児診療において感じることは、発達障害、被虐待症候群のこどもたちといろいろな形で出会うことが多くなってきました。より専門的な対応、多くの他職種との協力が必須です。これらは小児科診療の変容の一部です。このような変化に対応するためにも当院小児科は新たな知識、新しい技術の導入を怠らず、皆様地域医療施設との連携をより密とし地域小児医療の発展に尽くしていきます。引き続きのご指導ご鞭撻の程よろしく願いします。長い間ありがとうございました。

癌に対する最新外科治療 発進

～手術支援ロボット・ダビンチXi導入～

副院長 兼 消化器外科部長
低侵襲手術センター長 永井 英司



da Vinci Xi
SURGICAL SYSTEM

桜の季節が訪れ、当院にも新戦力が加わり新たな一歩を踏み出しました。

さて、当院ではこれまで患者さんに対して侵襲の少ない外科治療として内視鏡手術の充実に努めてきましたが、更なる低侵襲治療を目指して最新鋭手術支援ロボット・ダビンチXiを導入しました。ロボット手術とはいえ、当然ながらロボットが自立的に手術を行うわけではなく、ロボットを外科医が操作し、高度な内視鏡手術を遂行します。ですからロボットが勝手に動くというような事はありません。ダビンチはこれまでも使われてきましたが、Xiは其中でも最新型のものです。

ダヴィンチXiには

- 1) 高精細、高拡大3D(三次元)映像によって術者は手術部位を自然な奥行き感と鮮明な画像で見ることができる。
- 2) ロボットアーム先端の関節機能やモーションスケール機能、手振れ防止機能などにより通常の内視鏡手術に比べても更に細かな操作が可能になる。

- 3) これまでの旧型のダビンチSやSiに比べて最新型Xiでは安全性、操作性が更に向上している。

などの特徴があり、がん治療に新しい道を切り開くものです。これまで泌尿器科領域で前立腺がんと腎がんのロボット支援下手術が保険診療として認められていましたが、この4月から新たに消化器外科領域で食道や胃、直腸の悪性腫瘍、泌尿器科領域で膀胱の悪性腫瘍、呼吸器外科領域で肺悪性腫瘍と縦隔の腫瘍、婦人科領域で子宮の腫瘍に対する手術が保険適応となりました。

私は九州大学在籍時代の2013年3月に福岡県下で最初にダビンチを用いた胃癌手術を開始しました。またこの度、九州大学でロボット支援下の前立腺、腎腫瘍の手術を多数行ってきた清島先生を新たに泌尿器科部長にお迎えし、病院全体で準備を整えてきました。今後はこれまでの経験を共有し、病院を挙げて患者さんにとってより良い癌最新治療を推進していきたいと思っております。



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に信頼される最善の医療」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方をご紹介します。

医療法人 あんどう泌尿器科クリニック

得意分野：泌尿器科・腎臓内科

先生にインタビュー

アピールポイントを教えてください

外来では主に腎臓内科と泌尿器科を診察しています。昭和59年に医師になって以来、いくつかの医療機関を経験しながら、「患者さんにとって良いことは何か」ということを一番大切に考えるようにしてきました。医療の主役は医療者ではなく患者さんだということを忘れてはいけません。当院では人口透析も行っていましたが、透析患者さんは「生きるために透析をしなければならない」という大変重たいものを背負って病院に来られています。同じ気持ちになることはできなくても、できるだけ患者さんのお気持ちに近づいていくことで、おのずと最善の医療が提供できると考えています。

当院との連携についてお訪ねします

日赤の腎臓内科をはじめ、他科に対しても信頼して患者さんをお任せすることができるので、透析患者さんのシャント不全や合併症の悪化の際には、よく日赤にお世話になっています。開業当初から頻繁にお付き合いがあったわけではありませんが、少しずつ関係を築き、今ではお互いに良い信頼関係で連携ができています。



▲ 安藤三英院長

基本情報

- ◎ 院長：安藤 三英 先生
- ◎ 住所：〒811-1213 筑紫郡那珂川町中原2-127
- ◎ TEL：092-954-1616
- ◎ FAX：092-954-1691
- ◎ 診療科目：泌尿器科・腎臓内科・皮膚科・麻酔科
- ◎ 診療時間：
 - (外来) 月水金 9:30~12:30 14:00~17:00
 - 火木土 9:30~13:00
 - (透析) 月水金 8:10開始、14:15開始
 - 火木土 8:10開始、13:45開始
- ◎ 外来の休診日：日・祝



青を基調に落ち着いた ▲ 雰囲気の良い待合室

医療法人 三井島内科クリニック

得意分野：腎臓内科、血液透析

先生にインタビュー

アピールポイントを教えてください

平成7年8月の開業以来、主に腎臓内科、特に血液透析を必要とする慢性腎不全の患者さんを中心に診療しています。昭和55年から平成2年まで福岡赤十字病院腎臓内科に勤務し、腎臓病の初期から血液透析、CAPD、腎移植までの臨床を叩き込まれました。その経験を生かして、福岡赤十字病院から繋がる標準化された透析医療を目指しています。

専属の慢性腎臓病療養指導看護師（DLN）、臨床工学技士、管理栄養士が勤務し、専門性の高い血液透析を行っています。特に、管理栄養士の指導の下、院内で調理、提供している透析食は患者さんにも好評を得ています。

「人の心がわかる心。寄り添う医療」を理念として、引き続き、患者さんの信頼と、福岡赤十字病院との連携の期待に沿えるような診療を続けて参りたいと存じます。

当院との連携についてお訪ねします

透析患者さんは多様な合併症をお持ちです。腎領域のみならず、多くの専門医がおられる福岡赤十字病院は、全科を通して透析患者さんの病態を理解して頂いており、連携もスムーズで、安心して連携診療をお願いできます。当院で血液透析を受けておられる患者さんもそのことをよく理解されていると思います。



▲ 三井島千秋院長（後列右から3番目）とスタッフの皆様

基本情報

- ◎ 院長：三井島 千秋 先生
- ◎ 住所：〒815-0033 福岡市南区大橋4丁目25-30-2F
- ◎ TEL：092-562-8871
- ◎ FAX：092-562-8872
- ◎ 診療科目：内科
- ◎ 診療時間：
 - (外来) 月水金 9:00~12:00 14:00~16:00
 - 火木土 9:00~12:00
 - (透析) 完全予約制
 - 月水金 9時・16時開始の2シフト
 - 火木土 9時開始の1シフト
- 血液透析診療の都合上、透析以外の患者さんも、予約をお願いします。
- ◎ 外来の休診日：日・祝



院内で調理する透析食が ▲ 美味しいと好評

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来 ▲：午後再来（予約のみ） ●：予約のみ ※再来は原則予約制

平成30年4月18日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考	
総合診療科	居原 毅	○				○	内科一般・生活習慣病 睡眠時無呼吸症候群		
	原田 裕士	○				○			
	有吉 拓哉	○				○			
	総診当番医	○				○			
消化器内科	青柳 邦彦			▲	○		消化管 (食道・胃・小腸・大腸)	副院長	
	平川 克哉				▲				部長
	工藤 哲司		▲	○					副部長
	近藤 雅浩	▲				○			
	末永 文彦	○				▲			
	野村 亜貴子		▲			○			
	今津 愛介	○							
腎臓内科	大草 馨					▲	腎臓		
	満生 浩司	▲	○	○					部長
	黒木 裕介			▲	○				副部長
	中井 健太郎	▲							
	高江 啓太	○	▲						
	古原 千明	○	▲						
	井上 めぐみ								
糖尿病・代謝内科	佐々木 伸浩		○			○	糖尿病	部長	
	川本 徹	○	○	○					
	大城 彩香	●		●		●			
	坂本 和可子		●			○			
内分泌内科	高野 瑛子					●	内分泌・糖尿病		
	中川 瑞穂		○	○		○			部長
	目野 宏		○	●	●				副院長
	古財 敏之		○			●			副部長
循環器内科	増田 征剛					○	循環器		
	松川 龍一					○			
	栗林 祥子		○			○			
	甲木 雅人			○					
	徳留 正毅			○					
	松本 翔			○					
	西村 遼平			○					
中島 涼亮			○						
呼吸器内科	河口 知允	○				○	呼吸器一般	部長	
	恐田 尚幸			○	▲				
	山下 翔								交替制
	増本 駿								
肝臓内科	常岡 祐希						肝疾患一般		
	早田 哲郎		○	○		○			部長
	西澤 新也	●				○			副部長
	土屋 直壯	○							
血液・腫瘍内科	北口 恭規						血液疾患一般 固形腫瘍の化学療法 ※水曜日は隔週交替制	部長	
	谷本 一樹		○			○			副部長
	河野 一郎	○		○					
	坂本 佳治			●					
脳神経内科	大徳 真也						脳卒中・神経疾患	部長	
	北山 次郎	○		○					
	三本木 良紀		○			○			
	岡田 卓也					○			
膠原病内科	北村 泰佑						膠原病	部長	
	井上 靖	▲	●	○		○			
	佐川 文彬			▲					
	石丸 敏之		○			▲			
感染症内科	有田 康佑						感染症一般 ※水曜日は隔週	部長	
	中澤 愛美					○			
	寺坂 禮治								院長
	中房 祐司	○	○			○			副院長
外科	永井 英司	○	○			○	一般外科 消化器外科、肝胆膵外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 腹腔鏡下・胸腔鏡下手術 腎移植、腎不全外科 ERCP、PTCD、EST	部長	
	本山 健太郎	○	▲			○			部長
	小島 雅之	○				○			部長
	井上 重隆	○				○			副部長
	小倉 康裕	○				○			
	梁井 公輔	○				○			
	綿 建宏	○	○			○			
	安井 隆晴	○	○			○			
	永松 伊織	○	○			○			
	林 早織	▲		○	▲	○			
	岩本 直也	○				○			
	野口 影子	○				○			
心臓血管外科	藤元 静太郎	○				○	心臓外科 大動脈瘤、血管外科	部長	
	乳 腺 担 当	○	○	○	○	○			副部長
	宮本 和幸	○				○			

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考	
脳神経外科	巖 仁	○				○	脳神経外科疾患	部長	
	吉岡 努					○			部長
	平田 陽子			○					
	高木 友博	▲	▲		▲	▲			
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬 アトピー性皮膚炎	部長	
	前村 誠美	○	○	○	○	○			
眼科	大石 誠一郎	○		○	○	○	糖尿病性網膜症 白内障、緑内障	部長	
	瀧 瑠美子	○		○	○	○			
	非常 勤			○					
整形外科	泊 真二	○				○	脊椎・脊髄外科 関節外科・リウマチ 膝関節・脊椎外科・一般 手の外科・外傷・一般 外傷・一般 外傷・一般	副院長	
	伊藤 康正	○				○			副部長
	由布 竜矢					○			
	安原 隆寛					○			
	清水 大樹	○				○			
	吉野 宗一郎					○			
	筒井 聡	○				○			
産婦人科	西田 眞	婦				婦	周産期 悪性腫瘍、良性腫瘍 腹腔鏡手術	部長	
	遠城 幸子	産婦	産婦	産婦	産婦	産婦			部長
	栗原 秀一	産	産	産	産	産			副部長
	安藤 真理子	婦	産婦	産婦	産婦	産			
	和田 智子	婦	産婦	産婦	産婦	産			
	吉田 優	産	産婦	産婦	産婦	産			
	平川 真梨子	産婦	産	産	産	産			
嶋田 幸世	産婦				産婦				
小児科	森下 博貴						腎疾患 新生児 一般・神経 一般 一般・循環器 一般・腎疾患 一般 神経 循環器(第1金曜日午後のみ)	部長	
	波多江 健	○		○		○			部長
	久保 鋭治			○					副部長
	高田 結	○	○			○			
	尾田 琢也	○				○			
	中島 康貴	○				○			
	西村 真直	○				○			
菊野 里絵									
耳鼻咽喉科	非常 勤			●		●	耳鼻科一般 ※完全予約制(院内紹介のみ)		
形成外科	瀧田 裕一	○		○			再建外科・リンパ管外科・ 先天性疾患・顎顔面	部長	
泌尿器科	柚木 貴和	○		○		○	尿路結石、排尿機能障害 尿路器腫瘍 尿路感染症、腹腔鏡手術	部長	
	清島 圭二郎	○		○		○			部長
	秋武 正和	○		○		○			
	山田 茂智	○		○		○			
精神科	福地 源司郎					▲	一般・行動療法・強迫性障害 ※完全予約制、新患は月・水・金	部長	
	非常 勤								
	芝田 寿美男	●	●	●	●	●			
歯科・ 歯科口腔外科	非常 勤			●		●	一般歯科、口腔外科 (再来は完全予約制)	部長	
	左坐 春喜	○	○	○	○	○			副部長
放射線科	権山 哲郎	○	○	○	○	○	検査依頼(CT・MRI・R1等)のみ・ 電話予約制	部長	
	松尾 芳雄								
	川野 倫作								
	村山 佑里子								
麻酔科	菊野 亮栄						術中管理	部長	
	生野 慎二郎								部長
	江口 明								部長
	迎 雅彦								副部長
	楠本 剛								副部長
	若崎 るみ枝								副部長
	三浦 玲子								副部長
病理診断科	秋吉 瑠美子						人体病理一般		
	西川 文								
検査部	丸田 弦						検体検査管理	部長	
	瀨尾 大介								部長
救急科	半田 瑞樹						救急(各種中毒疾患含む)	部長	
	西山 憲一								副部長
	友尻 茂樹								
	荒武 憲司								
健診部	大矢 浩史						人間ドック・健康診断・循環器		
	皆川 雄郷								

●受付時間 月曜日～金曜日(初診・再診) 8:10～11:00

※下欄に記載のない診療科・曜日については上記通りの受付となります

●総合診療科	(初診)	総診当番医は内科系医師による交替制です
●呼吸器内科	(初診・再診)	月・水・木・金のみ
●心臓血管外科		火・木のみ
●脳神経外科	(初診・再診)	水曜日は手術日とさせていただきます
●皮膚科	(初診)	月 8:10～10:00(火～金は通常通り)
	(再診)	完全予約制
●眼科	(初診)	火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診)	完全予約制 ※第1・3・5火曜日は新患のみ
●整形外科	(初診)	木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診)	火曜日は手術日とさせていただきます
●産婦人科	(初診・再診)	火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
●耳鼻咽喉科		完全予約制
●精神科	(初診)	月・水・金のみ(完全予約制)
	(再診)	完全予約制
●歯科	(再診)	完全予約制

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。

(時間外・土日祝日につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします)

専用 TEL ☎0120-521-993 専用 FAX ☎0120-521-992

※急患の方はこの限りではございません。

●診療開始時間……午前8時40分

●平日時間外及び休日急患診療(当直体制)

○内科系※ ○外科系※ ○循環器科 ○産婦人科

※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承ください

○小児科 平日(祝日を除く) 17時～19時30分

土曜日(祝日を除く) 13時～19時

【備考】急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診日です

再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211(代表)

病院管理者【院長】寺坂 禮治【副院長】中房 祐司、目野 宏、青柳 邦彦、泊 真二、永井 英司【事務部長】田中 秀隆【看護部長】松永 由紀子

平成30年4月発行(第42号) 福岡赤十字病院企画推進課 〒815-8555 福岡市南区大楠3丁目1番1号 TEL 092-521-1211 URL http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp